

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和元年度

市町村名	三芳町					
提案事業名	日本農業遺産認定を契機とした地域振興事業					
事業期間	29年度 ~ 29年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 認定エリアに訪れる観光来客者の数					
	(成果検証の具体的な方法) 拠点施設やイベントの来訪者数					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (29年3月時点)	8977	目標値 (31年3月時点)	10000	実績値 (31年3月時点)	11127
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) 400 (実績) 1696	稼働率 (%)	(目標) 18% (実績) 29%		
住民への公表状況 及び特記事項		広報、ホームページ、SNS等				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成30年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 上富拠点施設整備事業	○	町の農業・観光の中心である上富地域の拠点施設の整備を実施し、利用に伴う身体的制限が軽減されたことから、拠点施設の利用者が増加した。
② 日本農業遺産認定を活用した情報発信と次世代育成事業	△	日本農業遺産の認定を契機として、落ち葉堆肥農法を実施している上富地域を中心として町内への観光客の誘客へ強化を図った。この結果、来訪者が増加した。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	地元農業者の協力を得て実施されたイベント及び日本農業遺産に認定された地域を見学に来訪する観光客が増加。更にこの地域の特産品であるさつまいものイメージや認知度もアップし、タイアップする企業等も増加した。
実施事業について 成果が不十分である点	現在、落ち葉堆肥農法を実施している各実践農業者や次世代育成のための支援。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	情報発信やPR活動については、今まで以上に範囲を広範囲とし、情報発信の内容の再検討を行う。現在、この農法を実施している実践農業者に対し必要な支援や次世代育成のための支援を今後実施していく。